

世界の主な地震

平成 31 年（2019 年）4 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

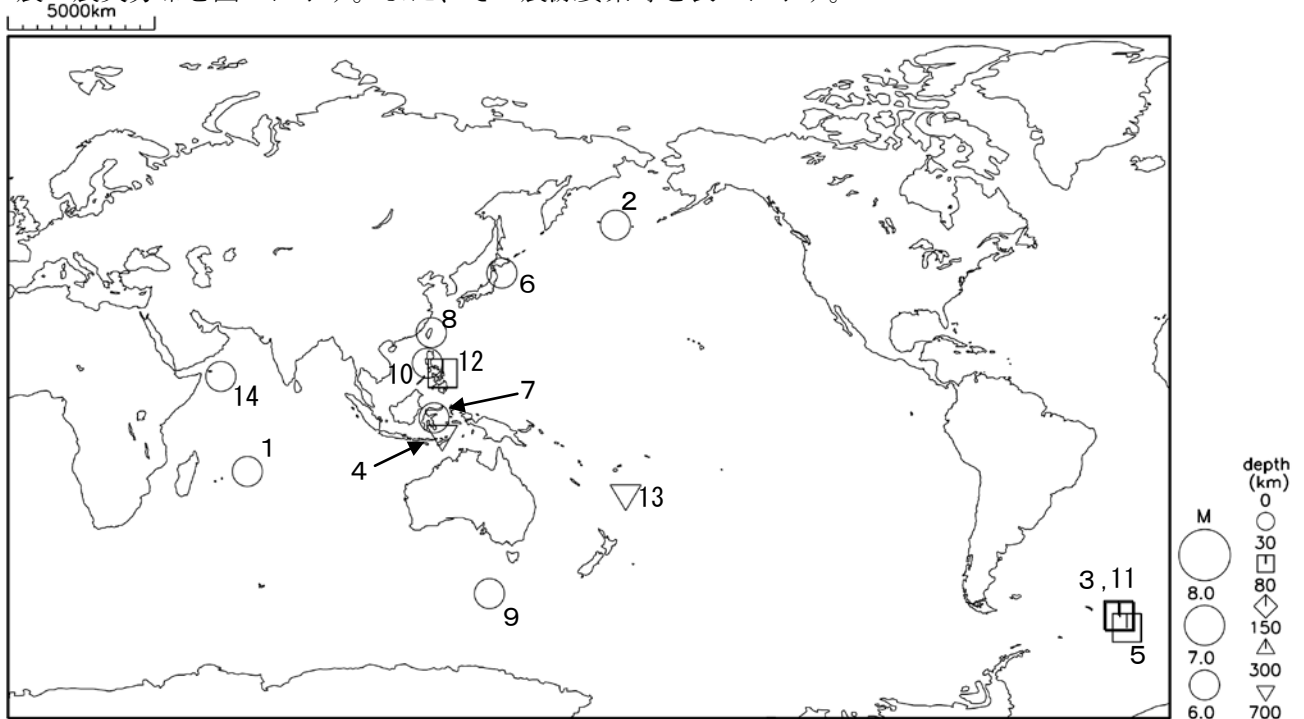


図 1 平成 31 年（2019 年）4 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 平成 31 年（2019 年）4 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	02日03時39分	S18° 12.3'	E 65° 21.9'	10			6.0	モーリシャス-レユニオン			
2	03日06時35分	N52° 10.0'	E178° 04.0'	8			6.4	アリューシャン列島ラット諸島			
3	06日01時14分	S55° 55.2'	W 27° 51.3'	59			6.4	サウスサンドウィッチ諸島			
4	07日06時55分	S 6° 50.9'	E125° 00.8'	539			6.3	バンダ海			
5	10日02時53分	S58° 36.3'	W 25° 15.3'	45			6.5	サウスサンドウィッチ諸島			
6	11日17時18分	N40° 25.1'	E143° 18.2'	12		6.2	(6.2)	三陸沖			
7	12日20時40分	S 1° 51.1'	E122° 33.1'	17			6.8	インドネシア、スラウェシ			
8	18日14時01分	N23° 59.3'	E121° 41.6'	20		6.5	(6.2)	台湾付近	負傷者17人など		
9	18日23時46分	S51° 03.3'	E139° 29.4'	10			6.5	インド-南極海嶺西部			
10	22日18時11分	N14° 55.4'	E120° 29.8'	20			6.1	フィリピン諸島、ルソン	死者18人、負傷者256人など		
11	22日23時49分	S56° 15.7'	W 27° 21.0'	79			6.0	サウスサンドウィッチ諸島			
12	23日14時37分	N11° 50.7'	E125° 11.2'	54			6.4	フィリピン諸島、サマル			
13	23日23時20分	S24° 42.3'	W178° 45.8'	386			6.0	フィジー諸島南方			
14	29日23時19分	N10° 52.9'	E 57° 14.3'	10			6.2	カールスバーグ海嶺			

- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2019 年 5 月 6 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- 被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。
- 4 月 18 日の台湾の地震の被害状況は内政部消防署 (台湾) による (2019 年 4 月 18 日現在)。

5月7日 パプアニューギニア、ニューギニア東部の地震

2019年5月7日06時19分（日本時間、以下同じ）にパプアニューギニア、ニューギニア東部の深さ127kmでMw7.1の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東-南南西方向に張力軸を持つ型である。

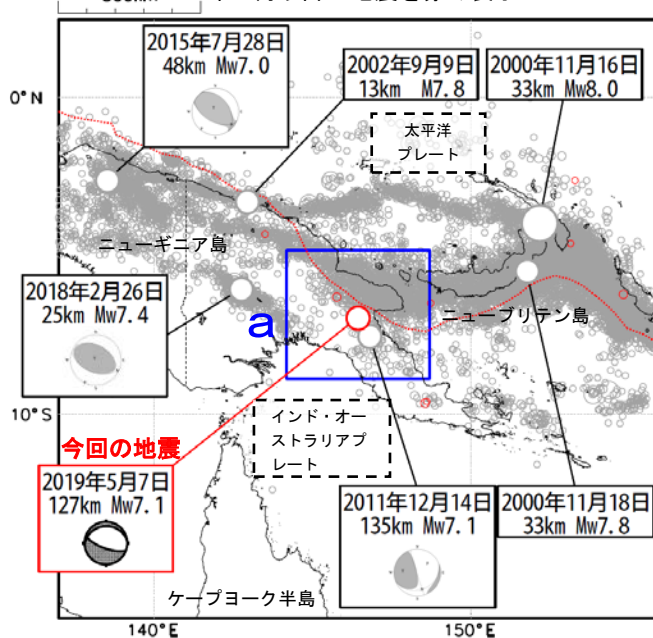
気象庁は、この地震に対して、同日06時46分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

2000年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、M7.0以上の地震では、2011年12月14日にMw7.1の地震が発生した。

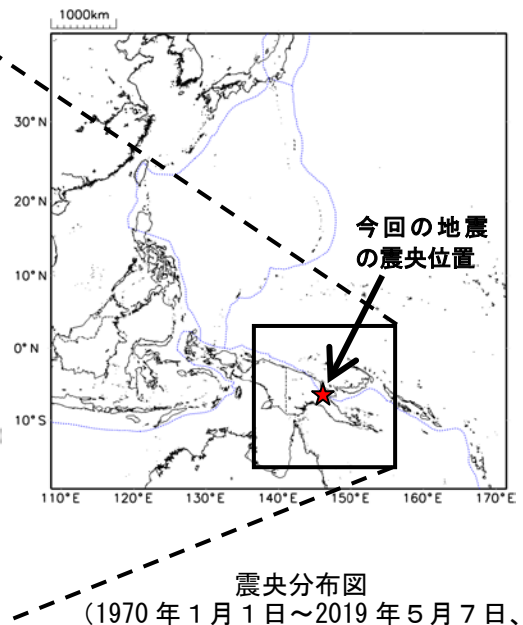
領域aに隣接する地域でもM7を超える地震が幾度か発生している。最近では、2018年2月26日にMw7.4の地震が発生し、地滑りにより死者100人以上等の被害が生じた。

1970年以降の活動をみると、今回の地震が発生した地域ではM7.0以上の地震が頻繁に発生しており、1996年2月17日にはMw8.2の地震が発生し、父島で104cm、串本（和歌山県）で96cmなど、日本でも津波を観測した。

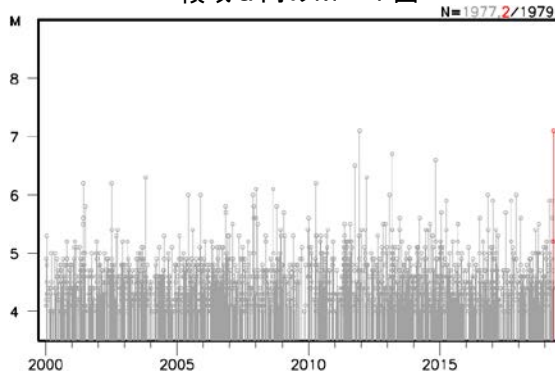
震央分布図
(2000年1月1日~2019年5月7日、深さ0~150km、M≥4.0)
500km 2019年5月以降の地震を赤く表示



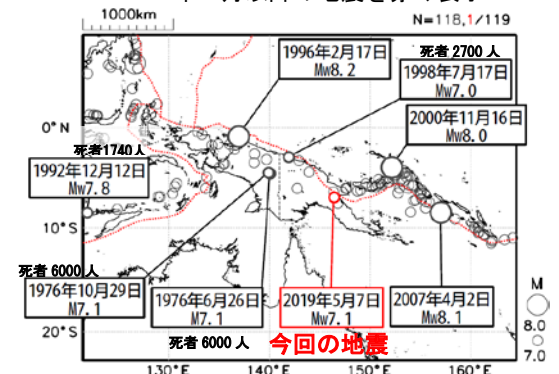
プレート境界の位置



領域a内のM-T図



震央分布図
(1970年1月1日~2019年5月7日、深さ0~150km、M≥7.0)
2019年5月以降の地震を赤く表示



今回の地震、M8.0以上の地震、及び死者1000人以上の地震に吹き出しを付けた。

※本資料中、2011年12月14日、2015年7月28日、2018年2月26日、及び今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。また、1970年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2019年5月8日現在)。プレート境界の位置はBird (2003) より引用。1994年6月9日の地震及び2001年6月24日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.